

科目名 Course Name	医療情報技師基礎 Healthcare information technologist basic			ナンバリング No.	D3-003		
年次	2	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	戸井田 睦美						
連絡方法	C-Learning で対応。オフィスアワーは授業担当時間外。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1, DP2, DP3						
授業の概要と到達目標	<p>(授業概要)</p> <p>これからの医療機関はその業務のほとんどを IT 化の活用に向けて舵を切っている。DX に対応できる人材の育成を中心に、医療情報技師としての基礎を学習する。</p> <p>(授業目標)</p> <p>1 年次に学習した情報エキスパートの基礎知識を活かし医療情報基礎知識検定試験に合格することを目標とする。</p>						
授業の方法	PowerPoint を使用して、基本的なスライド作成・操作、グラフィックの挿入等の、スライドショーを行う。実務的な作業や医学知識の理解をグループで確認し対策問題に取り組む。						
学習成果	L01	コンピュータ・情報システムの基礎知識を理解することができる。					
	L02						
	L03	医療情報の特質を理解し利活用ができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	その都度、例題で確認する。						
教科書/参考図書	医療情報の基礎知識(南江堂)						
履修上の留意点やルール等	●毎回の課題の提出を必ずすること。●事前・事後学習に費やす時間は各回 180 分とする。●各自ノートパソコン、USB メモリーの持参。						
担当教員の実務経歴	●実務経歴(職種:病院事務 職歴:通算 8 年)病院事務としての経験を医療情報の指導に活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	積極的に課題に取り組んでいる。	20			
レポート/作品	課題を期日内に提出している。内容が他者にもわかりやすくまとめてあり、自身の考えや感想を述べている。			30	
発表					
小テスト					
試験	授業の到達目標に掲げた項目の理解度に応じて評価する。	30			
その他	医療情報基礎知識検定試験に合格する。			20	
<b>合計</b>		50		50	

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション 検定試験に向けた心構え
	事前・事後学習	プリントの課題を予習・復習をする。
2	授業内容	保険医療福祉制度と行政組織
	事前・事後学習	問題集 医療制度の予習・復習をする。
3	授業内容	救急医療と災害医療
	事前・事後学習	問題集 医療関連法規の予習・復習をする。
4	授業内容	病院における診療体制と業務
	事前・事後学習	問題集 病院業務の予習・復習をする。
5	授業内容	病院の運営と管理
	事前・事後学習	問題集 病院の運営管理の予習・復習をする。
6	授業内容	医療情報の特性と利用
	事前・事後学習	問題集 医療情報の特性の予習・復習をする。
7	授業内容	医の倫理、医療の情報倫理
	事前・事後学習	問題集 医療の情報倫理の予習・復習をする。
8	授業内容	情報の表現
	事前・事後学習	問題集 コンピュータの基礎の予習・復習をする。
9	授業内容	情報セキュリティの脅威と対策
	事前・事後学習	問題集 情報システムの基盤技術の予習・復習をする。
10	授業内容	医療情報システムの管理
	事前・事後学習	問題集 医療情報システムの構成と機能の予習・復習をする。
11	授業内容	情報の分析と評価
	事前・事後学習	問題集 医療情報の標準化と活用の予習・復習をする。
12	授業内容	検体試験対策1
	事前・事後学習	検定試験に向けた課題の予習・復習をする。
13	授業内容	検定試験対策2
	事前・事後学習	検定試験に向けた課題の予習・復習をする。
14	授業内容	検定試験対策3
	事前・事後学習	検定試験に向けた課題の予習・復習をする。
15	授業内容	まとめ
	事前・事後学習	検定試験に向けた課題の予習・復習をする。